

日刊 勤労千葉

79.6.25

No. 155

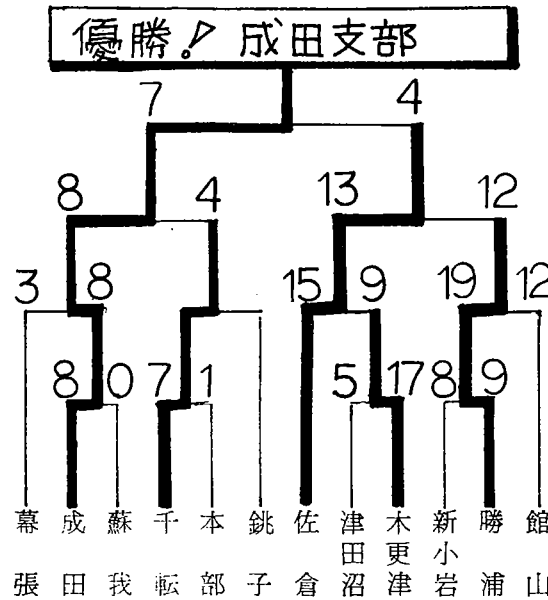
国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八・九(公衆電話)22七二〇七

成田支部が初優勝!

勤労千葉一回ソフトボール大会

(個人賞) 賞
・殊勲賞 田山 茂 (成田)
・敢闘賞 笠井 清 (佐倉)
・打撃賞 川島 三郎 (成田)



勤労千葉一回ソフトボール大会は、6月22日、幕張グラウンドにおいて、本部も含めて各支部より11チーム、約230名が参加し、終日、珍プレー、ポイントプレー続出の熱戦が展開され盛大に開催された。

開会式 伊藤選手が選手宣誓
(幕張支部)

開会式は、9時すぎ全選手が参加する中で、林文化部長の司会で始まり、奥川委員長より「この同一四〇〇組合員の一致団結であらゆる破壊策動を粉碎してきた。この力で、のころ支部と分科会の結成をかちとろう。サークル活動を全面的に発展させ一層の団結を強めていこう。各支部選手の健闘を祈る」との激励のあいさつを受けた。続いて準備支部でもある幕張支部の伊藤選手が力強い選手宣誓で開会式を終了し、直ちに試合に入ってしまった。

珍プレー、ポイントプレー続出の熱戦を展開

巻き上げる砂ぼこりと炎天下にもめげず、新生勤労千葉の敢闘精神をいかんなく発揮し、珍プレー、ポイントプレーもまじえ、やっける当人は、極めて真剣! 熱戦が展開された。
なにして、決勝戦に進出するためには、連続3試合に勝ち抜かなければならない。あの炎天下と砂ぼこりの中で、もはや技術よりも体力と気力の問題。成田支部と佐倉支部は、若さと体力で、この「苦しみ」

先に野球大会に引き続き続いて佐倉支部チームも参加してソフトボール大会が成功裡に終了したことの意義は大い。
さらにサークル活動を活発に展開し、勤労千葉の組織的強化発展をかちとろう。



四回表の猛打集中で一挙逆転(成田)

局	成田	佐倉
1	0	0
2	0	0
3	0	0
4	0	0
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	0	0
10	4	7

一回裏、佐倉は、好守備をほこっていた成田内野陣のエラーと2本のヒットなどで4点を先取し、「打撃の佐倉」の評判もあり好調なスタートを切った。
しかし、3回まで0点にあえがられていた成田は4回に入りチャンスをとらえ一挙に反撃に転じる。打順よく3番足立からの攻撃で、計6安打を放つ猛打集中で5点をまぎりと、あっさり逆転。
一方、佐倉は、2回以降、立ち直った成田の好守備に再三の得点チャンスをとらえ一歩の所ではばまれ、逆に、5回、7回と成田の地道な攻めで追加点を許し、そのまま押し切られた。
「攻」守ともども各々妙味を生かした汗とほこりと赤熱の、北総決戦、であった。

サークル協だよ!

7月1日(日) 家族そろって
ジャガイ堀り大会へ
三里塚の太陽と緑の大地をおもひっきり
楽しもう! 11時現地(三里塚・石橋宅)
雨天の場合は、8日(日)

千葉市からは無料貸切バスが出ます。
(バス料)9時30分、千葉駅正面、旧電務区前
※各自昼食・軽作業のできる軽装・日よけ帽
等を持参して下さい。